

仙台市 農政だより

2023年 冬号



【発行】仙台市経済局農林部(農政企画課、農業振興課、農林土木課)

とれたて仙台
仙台の大地の贈り物

学校給食向け環境保全米の生産を支援しています

仙台市内の学校給食へ提供する環境保全米について、慣行栽培米との生産資材の差額の一部を補助します。詳細については、下記へお問い合わせください。

補助対象経費	環境保全米(ひとめぼれ)の生産に当たり発生する、慣行栽培米との生産資材の差額の一部。(補助基本額)1俵(米60kg)あたり250円を上限とします。
対象者	仙台市内の農業者
採択基準	<ul style="list-style-type: none"> 仙台市内の市立学校の学校給食へ提供する環境保全米(ひとめぼれ)であること。 申請年度内産の米であること。
問い合わせ先	仙台農業協同組合 営農部営農指導センター米穀担当 TEL 022-236-2461 中央営農センター TEL 022-289-2914 西部営農センター TEL 022-391-0150

【農政企画課農食ビジネス推進室(電話:214-8266)】

生産者インタビュー ～関内清一さん～

農薬や化学肥料を一般の米づくりの半分以下に減らして生産する「環境保全米」が、仙台市内の小中学校の給食に提供されています。

今回、宮城野区で環境保全米を生産する関内清一さんにお話を伺いました。関内さんは、「どうせ作るなら環境に優しく、安心できるものを」という思いから、周囲に先駆けて環境保全米の生産に挑戦しました。

環境保全米は、農薬の使用量が限られるため、日々の見回りや草刈りなど、田んぼの管理には一般の米づくり以上の手間がかかります。特に夏の暑い時期は大変ですが、「学校給食で、子どもたちがおいしく食べてくれるのが何より嬉しいです。農業のことを少しでも身近に感じてもらえたらいいですね」と関内さん。

生き物が棲みやすい田んぼで作られる環境保全米は、持続可能な社会を創る国際的な目標「SDGs」の取組みに貢献しています。給食を食べる子どもたちにとって、環境保全米はSDGsについて学ぶ生きた教材にもなっています。

強い思いを持って米づくりに取り組んでいる関内さん。「身体が動く間は、現役で頑張るつもりです」と話してくださいました。



関内清一さん

Midoriの取材日誌



農政企画課が運営するInstagram「とれたて仙台」では、関内さんにご協力いただき、12月の耕うん作業から1年に渡り、種の準備や育苗、田植え、稲の管理、稲刈りの様子などを取材させていただきました。関内さん、ご協力ありがとうございました！

環境保全米が学校給食に提供されるまでの一連の記事はInstagramのハッシュタグ「#環境保全米日記」でご覧いただけます。(野菜ソムリエ上級プロ 斉藤緑里)

【農政企画課農食ビジネス推進室(電話:214-8266)】

6次産業化や農商工連携にチャレンジしてみませんか



仙台産農林水産物を使用した6次産業化や農商工連携の取り組みを、専門家の知見を活用しながら、事業計画の策定から商品開発、加工・製造、販路開拓まで伴走型で継続的に支援します。

【支援事例】森のはちみつ

- 専門家派遣
マーケティングや商品開発の助言指導

- 補助金交付
ギフトボックスの包装紙、のし紙のデザイン開発
商品開発のための機材導入

○対象者

認定農業者、農業協同組合、林業者、森林組合、漁業者、漁業協同組合、市内の農林漁業者等と連携して事業に取り組む商工業者、その他市長が特に必要と認めた者

(いずれも市税を滞納していない方に限ります)

○専門家派遣

必要な助言・指導を受けることができます。

派遣内容例	事業計画策定、経営診断、マーケティング、商品開発、技術指導、デザイン開発、販路開拓等
派遣回数	年度内5回まで
派遣時間	1回2時間程度

○補助金

原則として、2名以上の異なる分野の専門家派遣を受け、所定の事業計画書を作成し適切であると認められた後に、下記の補助金を必要に応じて受けることができます。

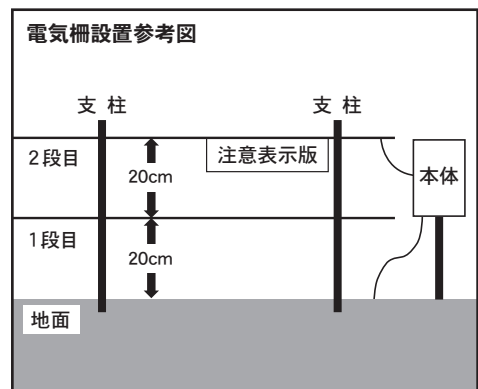
メニュー	補助率	上限額
マーケティング	1/2以内	10万円
機材導入	1/2以内	120万円
商品ブランドデザイン開発	1/2以内	15万円
試作	1/2以内	20万円
販路開拓	1/2以内	20万円

【農政企画課農食ビジネス推進室(電話:214-8266)】

電気柵は適切に管理しましょう

防護柵は設置してからの管理が重要です。適切な管理を行い、防除効果の維持に努めましょう。

- 防護柵のまわりの草刈りや、電気柵の場合には電圧の確認を定期的に行いましょう。
- 電気柵はアスファルトの道路際に設置すると効果が半減することがあります。道路際に設置する場合は路面からできるだけ離して設置しましょう。路面から離せない場合には、柵線の下に通電性のあるシートを設置することも有効です。
- 電気柵はイノシシが鼻先で触れたときのみ有効です。間隔は20センチメートル未満を保ち、常に通電しましょう。
- 電気柵を通電せずに設置しているとイノシシが慣れてしまいます。簡単に侵入するようになってしまうため、使わないときには必ず取り外しましょう。
- 電気柵の線のみを設置したり、ビニール紐等で電気柵の代用をしたりすることも、イノシシが電気柵に慣れる原因となりますので避けましょう。
- 電気柵やバッテリーの盗難が発生しております。固定して安易に持ち去られないようにするなどの対策をしましょう。
- 光、音、においによる対策は一時的には効果のあるものもありますが、イノシシがいずれ慣れてしまい、効果はなくなります。



【農業振興課地域支援係(電話:214-8334)】

農業と男女共同参画

女性農業委員にお話をお聞きしました

農業委員は、農地の貸借・売買、農地転用許可等について、総会で審議・決定を行います。また、農地利用最適化推進委員と連携し、遊休農地の発生防止・解消のための農地パトロール等、現場活動を行っています。

仙台市では19人の農業委員と34人の農地利用最適化推進委員が活躍しています。

今回、日々精力的に活動されている2名の女性農業委員、加藤和江さんと佐藤とみさんにお話をお聞きしました。



左)加藤和江さん(六郷)／右)佐藤とみさん(宮城)

質問:委員の活動の中で、女性の視点をどう捉えていますか

佐藤 委員に女性がいるのといないのでは全然違うと思います。男性と女性の視点の違い、考え方の違いは大事です。目の付け所というか。農業関係はこれまで男性社会でしたが、これからは変わっていく必要があると思います。

加藤 農業人口が年々急激に減っていること、それは男性だけでは背負えるものではないです。担い手である女性も委員として参加し、意見を言って女性にとっても営農しやすい環境を整えていくことが大事だと思います。時代も変わってきているし、若い人に対し道を開いておかないという思いもあります。

質問:農業委員をやってよかったと思うことはなんですか

佐藤 意向調査に行くと、集落の皆さん、日頃ご自身の農業経営について思っていることをたくさん話してくれます。安心してお話してもらえてるのですかね。

加藤 最初は「どうして女性が農業委員？」という感じでも、話をして地域の人との交流が深まり、地域になじんだなあという実感があり、私にとってはやりがいがありプラスになっています。

質問:女性農業者の方々に伝えたいことはありますか

佐藤 自分が農業に本格的に取り組むのであれば、農業委員の仕事の中身を若い時から知っていたほうがいいのではないかと思います。他の農地で何が作られている、ここは作付けされてない等、以前は無関心でしたが、農地・地域を見る目が変わってきますよ。

加藤 委員の活動を通して、いろいろな方の話を聞くのは本当に勉強になります。担い手の人が意見を言ったりすることがとても大事だと思います。活動を通して地域の活性化につながればいいですね。

【農政企画課企画調整係(電話:214-8265)】

【農業委員会事務局 事務課振興係(電話:214-4308)】

水稲直播栽培を支援します

主食用米を対象とした、水稲直播栽培の取り組みを支援します。具体的な要件等は以下のとおりです。



	水稲直播栽培支援事業	大規模水稲直播栽培団地育成事業
補助対象者	<ul style="list-style-type: none"> 認定農業者 仙台市地域農業基盤強化プラン(人・農地プラン)に位置付けされている中心経営体 	<ul style="list-style-type: none"> 農業者、生産組織等
対象面積	5ha未満(主食用米)	5ha以上(主食用米)
補助内容	10a当たり1,500円以内	10a当たり2,000円以内
補助条件	「水稲直播栽培支援事業」と「大規模水稲直播栽培団地育成事業」による補助を合わせて3年を超えないこと。	

水稲直播栽培支援事業については、令和5年3月にJA等に提出する、営農計画書の直播の欄に「○」がついている方を対象として市で調査を行い、令和5年6月頃に対象者の皆様へ補助事業の案内を送付します。不明な点があれば下記連絡先までお問合せください。

【農業振興課担い手育成係(電話:214-7327)】

仙台市森林アドバイザー養成講座(第21期)受講者を募集します

森林ボランティア活動の指導的役割を担う人材を養成する講座の受講者を募集します。チェーンソー等による森林作業、専門家の講義や視察研修を行い、森林・林業の現状などについて学ぶことができます。

期 間	令和5年4月から令和6年2月(全11回) 	会 場	市有林(太白区坪沼ほか)、茂庭台・根白石市民センター等(予定)
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ●市内在住の18歳以上で、現地集合が可能な方 ●森林ボランティア指導者の活動に関心がある方 	定 員	16名 (応募多数の場合選考)
主 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●植林、下刈、抜き伐り、保育間伐等作業体験 ●刈払機、チェーンソー講習等 	費 用	35,000円程度 (外部講習会(刈払機・チェーンソーの安全講習会)参加費等)
申 込	<ul style="list-style-type: none"> ○申込書配布先 市役所本庁舎1階市民のへや、各区役所、総合支所、各区中央市民センター、市ホームページ ○申込方法 申込書に必要事項をご記入の上、FAX又は郵送にて下記まで ○申込期限 3月3日(金)必着 	 チェーンソーを用いた 間伐作業体験	

【農林土木課林務係(電話:214-8264/FAX:214-8272)】

米粉製粉機を使ってみませんか

せんだい農業園芸センターの加工棟で、米粉製粉機がご利用いただけます。米粉は余分な油を吸いにくく水に溶けやすいので、料理のほか、おやつ作りにも適しています。

サクサクとした食感のクッキーや、しっとりもちもちのパンケーキなど、材料を米粉に置き換えることで、ひと味違った食感が楽しめます。必須アミノ酸を多く含み栄養価が高く、食料自給率アップにもつながる米粉を、是非さまざまなメニューに取り入れてみてください。



米粉を使ったクッキー



せんだい農業園芸センターの米粉製粉機

- 利用できる方：市内にお住まいの方、市内に住所がある食品加工業者
- 利用料金：30分110円(税込)
- 目安時間：10kgの米で約1時間かかります。
- 製粉は精米済みの米に限ります。製粉後はタンクから取り出すため、大きいレジ袋(LLサイズ・45号)などをご持参ください。
- 利用方法：せんだい農業園芸センターへ直接予約
※詳細及び空き状況等は、せんだい農業園芸センターホームページ(<https://sendai-nogyo-engei-center.jp/>)からご確認いただけます。

【せんだい農業園芸センター(電話:288-0811)】

【農政企画課農食ビジネス推進室(電話:214-8266)】

【発行】仙台市経済局農林部(農政企画課、農業振興課、農林土木課)
〒980-0803 青葉区国分町3丁目6番1号 表小路仮庁舎(仙台パークビル9階)
電話 022-214-8265 FAX 022-214-8338(農政企画課)

◆Eメール kei008110@city.sendai.jp(農政企画課)

◆HP <https://www.city.sendai.jp/kurashi/shizen/norinsuisan/index.html>



仙台市農林水産業ページ



とれたて仙台WEBページ